



第29回 沖縄県大宜味村児童との 夏季交流事業



健康・長寿の取り組みがきっかけとなり平成6年から始まった沖縄県大宜味村児童との交流事業は、本年で29回目を迎えました。今会津小学校6年生24人が参加し、7月25日から28日ま

きつかけとなり平成6年から始まった沖縄県大宜味村児童との交流事業は、本年で29回目を迎えました。今会津小学校6年生24人が参加し、7月25日から28日ま

り里桜さんが「沖縄の文化や食べ物について体験し、全員が楽しかったと言える交流にしたい」と誓いのことばを述べました。

大宜味村に到着してからは、大宜味村の宮城政信教育長をはじめ大宜味村児童や関係者の皆さんとの歓迎を受けました。歓迎式・対面式では、町の参加児童を代表して長谷川春子さんが「沖縄県の食べ物・料理に興味があり、文化や生活習慣の違いを見るなど、平和について考え、なによりも皆さんと友達になることを楽しみにしています」とあいさつしました。

交流活動では、台風の接近に伴い、予定していたマリン体験は中止になる可能性もありましたが、「沖縄の海を体験したい!」と児童らの願いが通じたのか、体験できることになり、安全な状況下で自由遊泳を楽し

ました。

3日目のお別れ式では、学習「干潟観察会」ではマングローブを間近に見たり、シオマネキを探したりと、沖縄ならではの貴重な体験をし、児童らは大宜味村の友達と交流を深めていました。

その他にも、沖縄の自然について学習し、沖縄戦戦没者の名前が刻んである「平和の礎」で説明を受けました。また、「ひめゆり平和祈念資料館」では生存者の証言記録や映像で戦争について学び、平和の大切さを深く心に留めました。

4日目は沖縄の歴史について学習し、沖縄戦戦没者の名前が刻んである「平和の礎」で説明を受けました。また、「ひめゆり平和祈念資料館」では生存者の証言記録や映像で戦争について学び、平和の大切さを深く心に留めました。

参加した児童の皆さん

は、今回の交流事業を通して豊かな人間性を育むとともに異なる文化に対する理解を学び、大きく成長する

西中町民図書館 新刊オススメ本



『灰になつたら夫婦円満』
[小川 有里 著]
草思社

題名を見ただけで、なに？気になる！？と思わず手に取ってしまう人は、長年連れ添った夫（妻）に何かしら思うところがある人が多いのではないでしょうか。

実話なのかと思てしまいそうになるくらい高齢者の直面する遺産や介護、墓問題、恋愛、嫉妬に再婚…。老いに直面した時に発する本音や心の亂高下をユーモアたっぷりの文章で綴った短編集です。

読後はパートナーへの愛と思いやりの気持ちが込み上げてくること間違いなし！



『一橋桐子（79）の相談日記』
[原田 ひ香 著]
徳間書店



『えにし屋春秋 夫婦じまい』
[あさの あつこ 著]
角川春樹事務所



『こんなことで、
死にたくなかった』
[高木 徹也 著]
三笠書房



『大人のさずかりエクササイズ』
[青山 遥 著]
主婦と生活社

町民ギャラリー 日本陶芸の会

今月は、福澤 明生さん（9町内2）の作品です。



作品紹介

「花器、器」

5月から10月まで週2回、皿・花器・コップ等々を作り、お互い研鑽しています。
今回は、花器・器にしました。



第2回野沢町内親善スポーツ・レクリエーション大会



8月31日、「第2回野沢町内親善スポーツ・レクリエーション大会」をさゆり公園体育館で行いました。

本年度は11チームが参加し、200人以上の野沢地区の皆さんのが集まり「ケツアツ測定」「ゆっくり急いで」など、幅広い年齢の人たちがさまざまな種目でチームプレーを楽しみ、地域の絆が深まつた大会となりました。



7町内



8町内



9町内



第57回新郷地区町民体育祭を開催！

8月31日、「第57回新郷地区町民体育祭」を新郷体育館で行い、5チームが参加しました。毎年行われている「縄ないリレー」や「輪投げ競争」、ニュースポーツの「ボッチャ」など、6種目で競いました。参加者は競技やチームの応援など、集落を越えた交流を楽しみました。



町民ミニミニ美術館

(町役場1階町民ホール)



石川紀江さん（本町）手芸展

開催時期：～10月下旬

気軽に立ち寄りください。

